

「目標」

いつも、自分の中に、どんなに小さなことでも良いから、行動目標を持つようにしよう。そしてある時期が過ぎたら、その目標を自分で評価してみる。人には誉められなくてもよい。それがどんなに大変なことだったかは、そして達成した時の喜びがどれほど大きかったかは、自分がいちばんよく知っている。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

クリスマスの曲が流れてくると何かとワクワクする気持ちをもたらしてくれます。クリスマス飾りにはどれも幸せに結びつく願いが込められています。今年は未曾有の、そして様々な困難に試行錯誤しながら立ち向かい、共存していく年でもありました。そのような中、自粛をしたり休息をせざるを得ない状況でも 子どもたちの笑顔はかけがえのないものでした。今月は聖愛会 三園合同のクリスマス祝賀会も分散し開催します。表現する楽しさや喜びを知り、たくさんのお恵みに感謝の祈りを捧げたいと思います。

私たちは、日々の生活の中で苦しいこと苦手なことを避け、楽なことを選んでしまう弱さがあります。何となく過ごす日常の中にも、自分がどんなことに喜びや偉せを感じるのか、どんな自分でありたいのかをまずは知ることが大切になります。その中で、小さくても目標を立てて過ごしていくことでやる気や活力へと繋がり、困難へと立ち向かう強さも生まれてくるのだと思います。小さな目標達成の積み重ねは達成感や自信となります。もし叶わなくても努力したことは無駄にはなりません。立てた目標に固執し過ぎず計画を修正する柔軟性や達成できなかったか原因を考え、次への糧にすることも必要になります。

子どもたちにとって 達成感の積み重ねは「自分は大切な存在である」という自己肯定感を育むことが出来ます。達成できた喜びという宝物を感じられるよう共感しながら意欲を育めるよう支えていきたいと思っています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子  
職員一同

12月聖句

学者たちはその星を見て喜びにあふれた。

マタイによる福音書2章10節

12月主題

「うれしいね」0歳

- ・クリスマスを喜び、うれしい気持ちを感じ合う
- ・寒い冬を健康に過ごす。
- ・絵本を読んでもらったり、クリスマスのうたや手あそびを  
楽しみながら繰り返す

1・2歳

- ・イエスさまのお誕生を楽しみに待ち、祝う。
- ・クリスマスの雰囲気を楽しみ、絵本やさんびかに親しむ。
- ・まわりの人と思いを共有する経験をする。

～子どもたちの姿～

舞い散る葉や冷たい風に、本格的な冬の訪れを感じます。収穫感謝祭ではご協力ありがとうございました。豊かな恵みと神さまに感謝し、様々な野菜や果物に触れる機会を持ちました。大きな大根を抱えたり、みかんや柚子の香りを嗅いだりしながら「重いよ」「いい匂い」「食べたいね」など感じたことを伝える様子も見られ「触ってごらん」と誘い一緒に楽しさを共有し合う姿もありました。収穫遊びでは、でこぼこ道やボーリングなど障害物を越え、包装紙を使い作った林檎の収穫をしました。行事の意味を知り、実体験を通し、たくさんの感謝と愛であふれる子どもとして、豊かな心を育ててほしいと願っています。今月開催されるクリスマス祝賀会において、子どもたちの成長をご覧いただきたいと思います。新型コロナウイルス感染症防止対策において皆様のご協力お願いいたします。

【12月の讃美歌】

おほしがひかる  
きたりたまえわれらのしゅよ

【12月のうた】

ジングルベル  
山の音楽家

	月	火	水	木	金	土	日
12 月の 予定表		1	2	3	4	5	6
	7 身体測定	8	9	10	11	12	13
	14	15	16 クリスマス祝賀会	17	18	19	20
	21	22 避難訓練	23	24	25	26	27
	28 クレイシュ通信	29	30	31			

◎12月16日はクリスマス祝賀会となります。クリスマス会の詳細については後日おたよりを配布いたします。年末に荷物を持ち帰ります。持ち物の名前の再確認をお願いいたします。◎